since
1921

創業の精神は、コマツの遺伝子として100年の歴史を刻み続けてきた。

コマツの創業者、竹内明太郎は1860年に土佐藩宿毛郷（現在の高知県宿毛市）に生まれました。父綱は板垣退助らとともに自由民権運動に奔走する傍ら、鉱山開発に携わり、その中の佐賀県の芳谷炭鉱の経営を27歳の明太郎に託しました。炭鉱は業績を順調に伸ばし1894年には竹内鉱業を設立し全国に鉱山経営を展開します。

1900年に明太郎は欧州の工業技術の見聞のために諸国を視察し、その際にパリ万博で目にした工業技術の進歩に衝撃を受け、「工業を発展させずして、国家の発展は無い」という思いに至ります。

竹内鉱業は1902年に石川県小松市の遊泉寺銅山を買収。明太郎はその経営にあたる一方で、1917年に小松鉄工所を設立し、工業の発展と人材育成に努めます。

1921年に小松鉄工所は竹内鉱業から分離独立し、小松製作所が誕生。創業の精神「1. 海外への雄飛」「2. 品質第一」「3. 技術革新」「4. 人材の育成」はコマツのDNAとして今も私たちに受け継がれています。

工業富国基

～世界に通用する技術を生み出し、世界を相手に勝負する～

コマツを支えた建機たち

D50-2 16号機

国産ブルドーザーの元祖

第2次世界大戦直後に開発されました。当時、日本の至るところに戦争で壊れた建物がたくさんあり、そんな中、ブルドーザーは1台で200人分の仕事をするといわれ、大活躍しました。

D50-8型

ブルドーザー装置付バケットローダー

D50(A)の基礎になったブルドーザー。油圧式ではなくケーブル式を採用し、前面についている排土板は、ワイヤーケーブルの巻き上げ、巻き下ろしによって上下に動かすことができます。バケットローダーは、前面に土砂を積み込むバケットが装着されているが、この機械はバケットの代わりに排土板をつけてブルドーザー仕様になっています。

D50S-8型

ドーザーショベル1号機

昔のドーザーショベルは、土砂をうまく掘削できなかったり、積み込み時にトラックとぶつかってしまい損傷が多いという欠点がありました。そこを解決するために開発されたのがD50S-8型。当時、国内では珍しい機械であったため、人気を集めました。

D50(A)

実験車 10672号機

外国製のブルドーザーに負けない性能や耐久性の向上を目指して、コマツが会社の存亡をかけて製造したブルドーザー。過酷な条件下で何度も稼働テストを繰り返し、ようやく完成しました。D50(A)の開発によって、コマツはそれまでとは比較にならないほどの性能と高い耐久性のブルドーザーの製造に成功しました。

JH30B

コマツ製最古のホイールローダー

実在するコマツ製ホイールローダーの中で最も古い機種。ホイールローダーはクローラーと異なりタイヤで走るため、スムーズなターンや走行速度の向上を実現しました。車体は大きくないが、短時間で多くの土砂が積み込め、作業の効率化に大きく貢献しました。

LT1200

農耕用軽自動車コマツユニカ

農家の長い間の夢「歩く農業より乗る農業へ」を実現した農耕用軽自動車。荷箱を積んで小型トラックとなり、トレーラーけん引で荷物運搬が可能です。動力取り出し装置を利用してロータリー耕転、脱穀まで様々な農作業をこなしていました。

こまつの杜 〒923-0869 石川県小松市こまつの杜1
TEL:0761-24-2154 FAX:0761-24-2164
https://www.komatsunomori.jp/

ミックス紙 FSC® C013678
2026.5.3600

わくわくコマツ歴史館

since
1921

地域と共に成長、世界のコマツへ

コマツ製最古のトラクタT25。

KOMATSU

100年の軌跡

ようこそ「わくわくコマツ歴史館」へ

1921年の創業から、世界を視野に入れてものづくりを始めました。そして「品質と信頼性の向上」を徹底追及し、世界中のお客さまのニーズと期待に最善の形で応える、安全で生産性の高い商品の提供を目指してまいりました。

この歴史館には、コマツの歴史を振り返りながら エポックとなったエピソードの紹介、先人が困難を乗り越えた経験をもとに生まれた『コマツウェイ』、そしてコマツグループの『ダントツ』技術や活動、情報が集約されています。

コマツが歩んできた100年の歴史をどうぞ最後までお楽しみください。

コマツ100年ヒストリー

大正	1921	(株)小松製作所設立
	1924	市販プレス第1号製作
昭和	1931	農耕用トラクターの国産第1号完成
	1943	ブルドーザーの国産第1号完成
	1951	本社を東京に移転
	1961	マルA対策を開始・全社的品質管理(QC)導入
	1964	ホイールローダーの技術提携
	1968	油圧ショベル生産開始
	1975	ブラジルにて初の海外現地生産(ブルドーザー)
	1985	米国、英国での現地生産開始
平成	1995	世界最大級のダンプトラック開発
	1998	本格的なサーボモーター駆動小型プレス発売
	2001	KOMTRAX標準搭載開始
	2006	経営の基本「コマツウェイ」制定
	2008	無人ダンプトラック進行システム、ハイブリッド油圧ショベル市場導入
	2012	フォークリフトFHシリーズFEシリーズ発売
	2015	スマートコンストラクション導入
令和	2021	創業100周年

5 インデックステーブル
2F

コマツの深堀りした歴史を個別に閲覧いただけます。

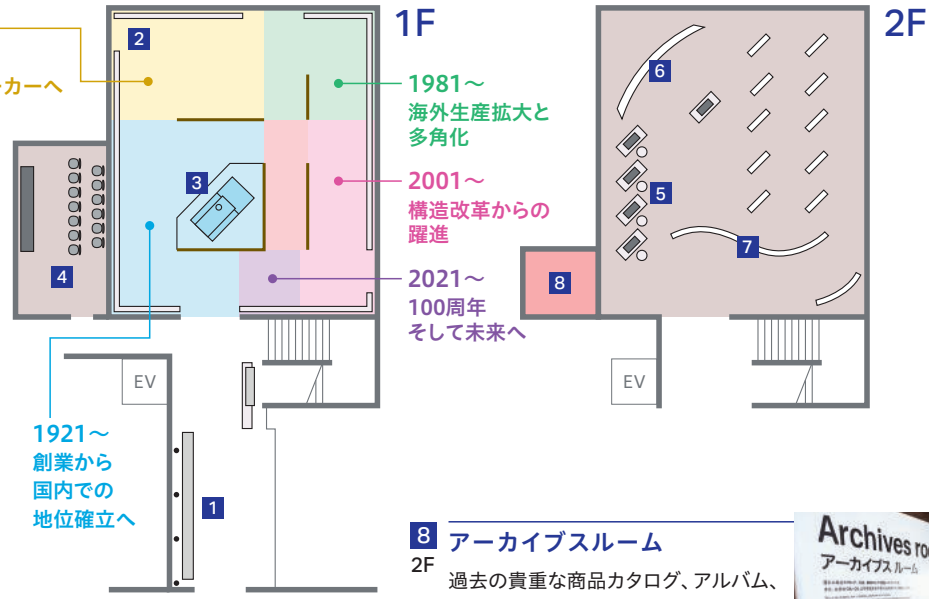
6 ヒストリーウォール
2F

商品史、工場史などのコンテンツを選択すると年表形式でご覧いただけます。

7 コマツウェイ
2F

コマツのDNAと呼ぶべき「コマツウェイ」の誕生秘話、困難を乗り越えた先人たちの事例、コマツウェイの身近なエピソードをご覧いただけます。

わくわくコマツ歴史館 フロアマップ



4 シアター
1F

コマツ100年の歴史を映像で振り返ることができます。

1 マルチモニター
1F

建設機械の迫力、活躍している様子を大画面でご覧いただけます。

8 アーカイブスルーム
2F

過去の貴重な商品カタログ、アルバム、書籍などをご覧いただけます。

3 エポック展示
1F

コマツの歴史の中でも転機となった出来事や技術・製品を再現ドラマやグラフィックでご覧いただけます。

2 歴史年表
1F

壁面を活用し年表と共に各時代を振り返ることができます。